

# 指定管理者に関する第三者評価シート

## 1 施設の概要

(評価実施年度： 令和 4 年度)

施設の名称	東大阪市立産業技術支援センター	指定期間	2 年度～	6 年度	
		選定方法	公募		
		指定管理者名	公益財団法人 東大阪市産業創造勤労者支援機構		
所管部課名	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室	評価機関名	株式会社 E.S CONSULTING GROUP		
施設の設置目的	中小製造業等に対する技術支援等により、産業の育成及び振興を図るため。		主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術相談・指導事業</li> <li>・測定機器等の利用</li> <li>・センター情報発信業務</li> <li>・人材育成・技術支援事業</li> </ul>	
設置時期	平成 9 年度				
主な料金体系 (有料・無料等)	有料				

## 2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)	
	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
供用(開館)日数	263	261	263	245	247	
収支状況 (千円)	収入総額	68,340	66,407	65,733	69,341	68,216
	指定管理者委託料	53,365	53,691	54,593	54,543	53,418
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	自主事業収入	568	0	8	810	810
	その他収入	14,407	12,716	11,132	13,988	13,988
	支出総額	67,804	65,154	64,518	69,341	68,216
	人件費	29,990	33,497	33,717	33,824	33,824
	施設維持管理費	31,014	24,551	23,963	28,451	27,326
	事業費	4,914	4,186	3,698	4,568	4,568
	その他支出	1,886	2,920	3,140	2,498	2,498
収支差額	536	1,253	1,215	0	0	

### 3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」  
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」  
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」  
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)			
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見	
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	施設設置目的に合致した事業運営が実施されている。  自主事業として、ものづくり大学事業を実施しており、指定管理者の創意工夫がなされている点は評価できる。  SNSやYoutubeを使った情報発信が行われている点については評価できるが、ホームページ等の発信内容については、改善の余地があると考え。閲覧者が利用したくなるよう内容の充実を図り、利用率向上を期待する。	情報発信の在り方について協議、検討を行っていただきたい。	
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	電力まとめ買いによる光熱水費の削減や施設メンテナンスをスタッフが実施することによる委託費の削減ができている点は高く評価できる。  大学等研究機関との人的ネットワークを活かしたセミナー講師を招致する取組みは費用対効果が高く評価できる。  試作工房についてはさらなる活用の可能性があるため、情報発信や活用機会の創出に期待する。	関係機関・関係部局とも連携するなどして試作工房の活用機会創出について、検討していただきたい。	
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	A	事業計画書に沿って取組みが実施されている。	引き続き適正な管理運営が行われるよう指導していただきたい。	
継続性	財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？	A	事業者の財政状況を見ると収益性に改善の余地はあるが、概ね健全である。  黒字は維持しているものの利用者一人当たりコストが増加しているため利用率向上に向けた企画・改善又は人員体制の見直しなどが必要と考えられる。	利用者一人当たりコストという点に着目し、適切な人員配置と感染症対策を踏まえた事業の収益性について検討していただきたい。
	労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取組みが実施されているか？	A	各種帳簿は整備されているものの、出勤簿の管理手法の変更を検討いただきたい。  高齢者が多い体制のため、長期・安定的な人員体制の確保が今後の課題といえる。	労働時間の正確な把握について、今後の対応に注視していただきたい。  適切な人員体制の確保に努めていただきたい。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価  A	総合的に良好な管理・運営がなされている。試作工房には3Dプリンターの設置がされておりセミナー利用もできる複合空間であるため、オープンイノベーションを創出する場所等となり得る。施設の持つ強みとなる部分をホームページやSNSなどオンラインツールを活用し市民にPRするとともに、他の施設との差別化が伝わるような情報発信などにより施設のブランディングを高めることで、さらなる利活用が期待できる。		